

リアクトル試験用電源

LSYS シリーズ

スイッチング方式直流電源とチョッパ方式定電流電源部とによって構成され、リアクトルに三角波電流を流す事によってリアクトルの特性試験を行う事ができる電源装置です。

特長

- 直流電源部は双方向コンバータ + チョッパ回路を採用している為、入力電流は正弦波となります。
- チョッパ方式定電流部の電力を直流電源中間段に DC 回生させている為、試験電力の約 1/4 の消費電力で試験する事が可能です。
- DC 回生方式を採用している為、小型・軽量・低価格を実現しました。

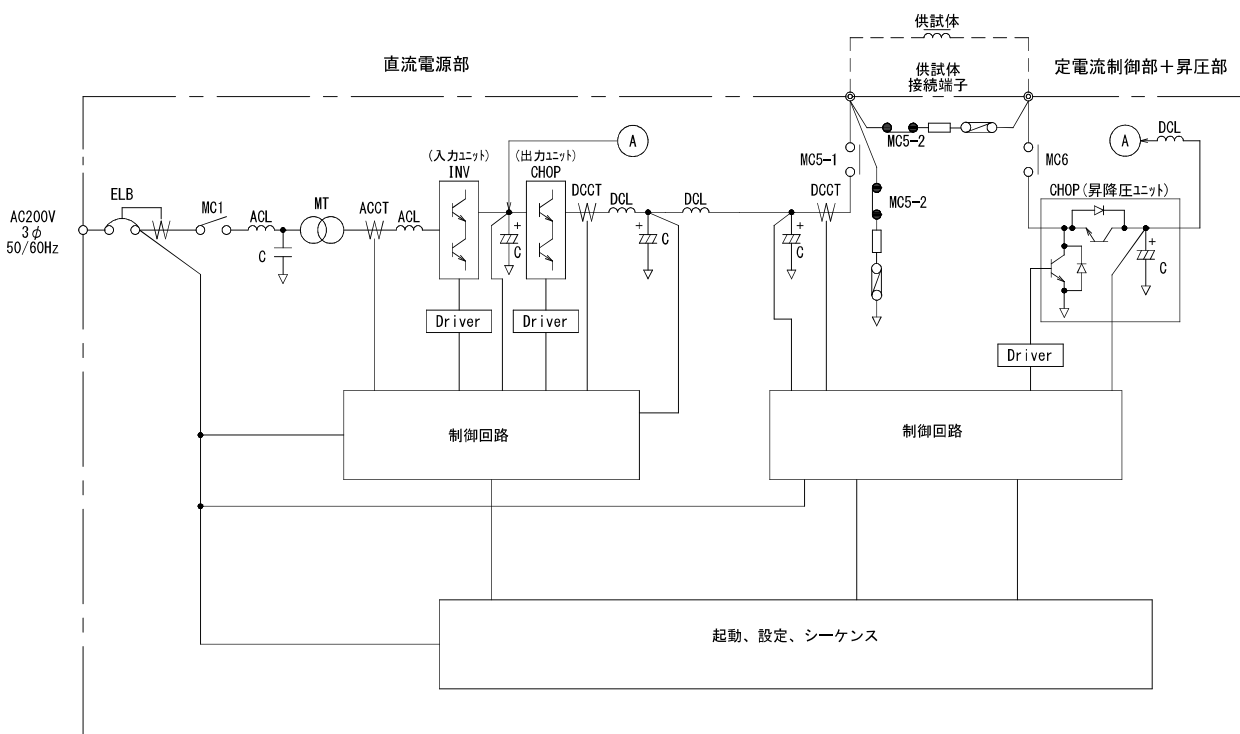
仕様

仕様	型式	LSYS-1600	LSYS-6000
入力	電圧	三相 3 線 200V ± 10%	三相 3 線 200V ± 10%
	力率	約 90% (最大負荷時)	約 90% (最大負荷時)
	容量	約 4kVA	約 10kVA
直流電源部	出力電圧	DC100 ~ 200V	DC100 ~ 200V
	出力電流	80Amax	300Amax
	出力容量	16kWmax	60kWmax
	制御方式	定電圧・定電流	定電圧・定電流
	定電圧精度	± 0.5% F.S	± 0.5% F.S
	定電流精度	± 0.5% F.S	± 0.5% F.S
	応答速度	100msec	100msec
昇圧チョッパ部	入力電圧	DC100 ~ 200V	DC100 ~ 200V
	昇圧電圧範囲	300 ~ 650V	300 ~ 650V
	電流設定範囲	20 ~ 80A	30 ~ 300A
	電圧精度	± 0.5% F.S	± 0.5% F.S
	周波数設定範囲	5kHz ~ 18kHz	5kHz ~ 18kHz
	制御方式	定電流	定電流
設定方式		盤面タッチパネル及び外部シリアル通信	盤面タッチパネル及び外部シリアル通信
寸法		1000W × 1240D × 1600H + 177 (キャスター)	1800W × 1240D × 1600H + 198 (キャスター)

※特注仕様も承ります。

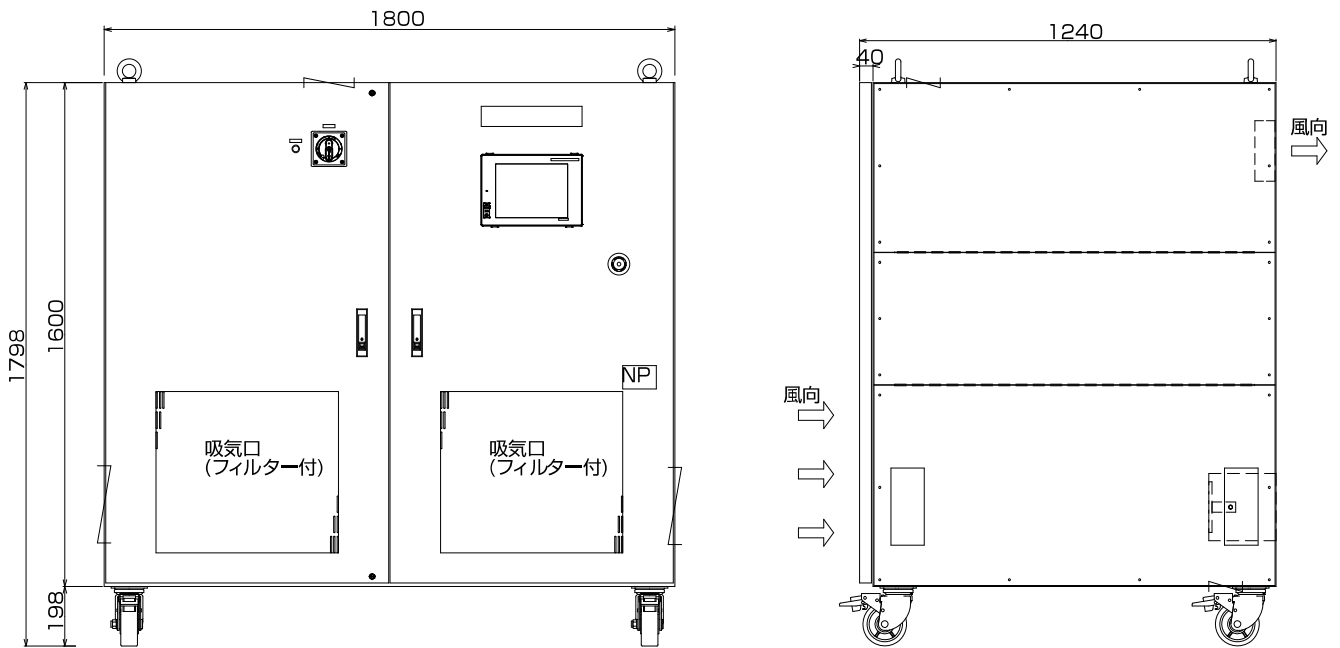
ブロック図

LSYS ブロック図



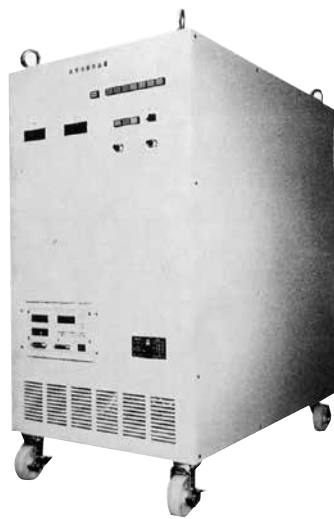
リアクトル試験用電源

外形図 (LSYS-6000 タイプ)



高周波電源装置

本機は誘導加熱や共振用電源として開発された電源装置で、鉄鋼、鍛造業界、新素材関連業界で活発に導入されているほか塩化ビニールの被膜強化の装置などにも用いられています。



YPS-3000

用途

- 誘導加熱、共振装置用

特長

- 高周波インバータ回路、高周波トランス技術を応用し高効率、高速応答、小型化を実現したもので出力周波数を7～20kHzまで可変になっています。

仕様

仕様	型式	YPS-500	YPS-3000
出力電圧範囲		0～75V	0～300V
出力電流		70A MAX (ピーク 175A)	100A MAX (ピーク 250A)
出力制御方式		定電流 (優先)・定電圧	
定電圧精度		ライン±2.0% ロード±3.0% 過渡応答 100msec 総合精度±8% rms	
定電流精度		ライン±2.0% ロード±3.0%	
出力電圧波形		矩形波	
交流入力電源		三相3線 50/60Hz 200V±10%	